

2017 5/23

No.2043

毎月第2・第4火曜日発行

# 政経 かながわ

一般社団法人  
—神奈川政経懇話会—



川崎市の中原区と高津区の境界付近を流れる「江川せせらぎ遊歩道」の小川で、今年もカルガモのひながかえり、愛らしい姿を住民らに見せている。(5月2日撮影)



# 政経かながわ

2017 5/23 No.2043

## contents

視点・点描	3
市民主体で福祉の新拠点	
講演録	4
トランプ米政権でどうなる世界と日本 国際ジャーナリスト 春名 幹男	
国際	8
今、世界で起きていること 仏大統領選から見えたもの	
くらし2017	14
拡大続ける梅毒	
広告珍談	16
広告はたのしい④〇 日本最初の市街電車	
NNAアジア経済リポート	17
神奈川景気データファイル	18
神奈川景気データファイル	19

### 事務局だより

- ◇6月定例講演会  
2017年6月14日(水)  
午後1時30分～3時  
ホテルニューグランド本館2階  
「レインボーボールルーム」  
講師はキヤノングローバル戦略  
研究所研究主幹の瀬口清之さん  
演題は「激動する世界経済と  
中国経済の現状と展望」
- ◇7月定例講演会  
2017年7月19日(水)  
午後1時30分～3時  
ロイヤルホールヨコハマ5階  
「リビエラの間」  
講師は日本銀行横浜支店長の  
播本慶子さん  
演題は「最近の金融経済情勢  
について」

# 視点



## 市民主体で福祉の新拠点

市民参加による福祉の街づくりで、象徴となる施設が5月、藤沢市柄沢にオープンした。NPO法人「ぐるーぶ藤」(鷺尾公子理事長)が運営するサービス付き高齢者向け住宅「ぐるーぶ藤二番館・柄沢」である。

全室バリアフリーで、キッチンやトイレが室内にあり、門限と外出制限はない。「施設」ではなく、

自宅で暮らすような「住まい」としての生活を楽しめるという。地下87メートルの井戸を掘り、飲料に利用できる井戸水や防災用簡易水洗トイレを完備し、地域防災拠点の役割を備えているのも特筆すべき点だ。

さらに、一体となつた福祉の新拠点として複数の施設を併設。通所介護施設「アクアディイ菜の花」

で、福祉施設として珍しい超音波流水プールが利用できる。小規模多機能型居宅介護施設「藤の花」では、利用者の状態や希望に応じて、通いを中心に泊まり、訪問のサービスを組み合わせて利用できる。居宅介護支援施設で介護サービスの総合的な使い方についてアドバイスも受けられる。まさに、地域の安心を支える福祉拠点といえるのではないか。

超音波流水プールは、らせん状

の流水と1秒間に100万回の細かな超音波の振動により、ほどよい水の刺激が体の深部まで働き掛け、水中ウォーキングの2・2倍の運動効果があるという。

高齢者が利用する様子を見学した。無理せずに体を動かし、とても気持ちよさそうにリハビリしているのが印象的だった。写真を撮影していると、心地よさが伝わった。

鷺尾理事長は「市民が主体となつて、歳をとつても病気になつても障がいがあつても、いつまでも自分らしく暮らせる街をつくりたい。生まれ育つた藤沢で実践したい」と話す。ぜひ、これからも全国の福祉関係者から模範となるような、高齢者や障害者に安心・快適な思いを提供する取り組みに力を入れてほしい。

(神奈川新聞社統合編集局次長

石曾根 剛)

ほどだつた。

この施設ができたきっかけは、1992年にさかのぼる。「住民同士の助け合いこそが少子高齢化社会の切り札」という思いで、鷺尾理事長ら5人の主婦が「ワーカーズ・コレクティブ藤」を設立。一步一歩着実に取り組みを進め、メンバーを増やし、賛同する人たちから支援も受け、活動を推進してきた。

## 日本最初の市街電車

いまは市内を走る、市街電車が

少なくなつて、まことにさみしい。

図は日本で初めて走った、電車の広告である。1889（明治22）年に掲出された。

右書きで「電気鉄道」「スプレーダ・システム」。イラストは電気鉄道のこと、現在の市街電車の前身である。2軸の4輪、5つの窓、吹きさらしの運転台。人物は車掌らしい、どうして？

電車は電気で走る。だから、電気を取り入れなければ走れない。

図の上にある線は、電気が流れる架線。屋根の上にある棒は、ポールという集電装置。電車は終点に着くと、もと来た線路を引きかえす。そのとき車掌は、ポールについたロープをあやつって、後ろへまわす。彼はその作業に必要な棒

を、手にしているのだ。

広告の説明を要約するところだ。

電気鉄道は馬車鉄道にくらべて、運転の経費はきわめて少なく、3分の1か半分くらい。アメリカでは多くの都市で馬車を廃止、電車に替わっている。スプレーダ式がもつとも優れている。わが社は電気鉄道の新設や、馬車を電車に替えるための、設計や見積もりも受けたまわる、と掲出した。

その翌年5月から東京・上野で開催された第3回国勧業博覧会で、日本で初めて電車が運行された。車両はアメリカから輸入し

力。左右並列の座席は、片側22人。定員は50人。路線は博覧会内ほぼ400メートル。乗車料金は大人2銭、子ども1銭。おなじ年に開通した新橋—大阪間の鉄道（SL

2銭、子ども1銭。おなじ年に開

通した新橋—大阪間の鉄道（SL

に乗った。

だけど、デンキが車体に流れているのではないかとびくびくし、

ポールと架線から火花が散ると、大きさになつたとか。

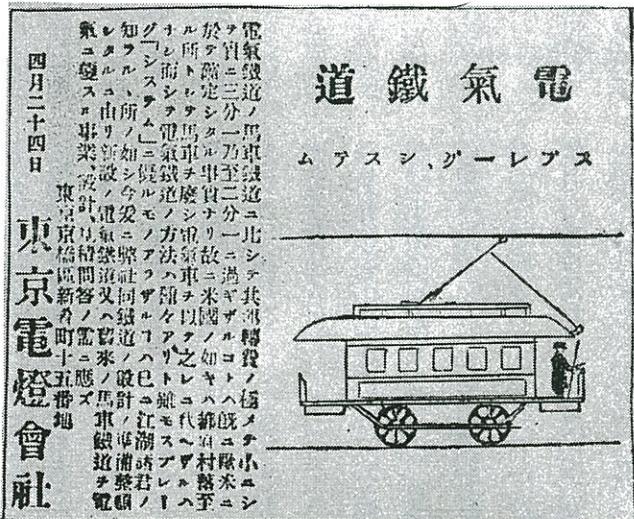
いえども、運転中動搖なきがゆえ、「試しに乗車して往復を試みしに、その速力余りに迅速ならずと

アメリカの電気技術者スプレー

グは、1884年、電気鉄道会社を創立。87年、リッチモンドにトルリーワードの市街電車を設置。モーターをはじめ、電車の制御方式や高圧直流方式、自動ブレーキや自動信号機を発明するなど、電気鉄道の父とたたえられた。

広告を掲出した東京電灯会社は、83（明治16）年に設立された日本最初の電力会社。のちの東京電力である。

（図）日本最初の電車の広告。1889（明治22）年掲出



に、乗り加減によき調子なり。と  
にもかくにも2銭を投じて、深緑  
鬱蒼たる樹間を往復するも、また  
一興ならん」と、ある新聞記者が